

2 節 加法定理

1 加法定理

角の和や差の三角関数については、次の **加法定理** が成り立つ。

◆ 正弦・余弦の加法定理 ◆

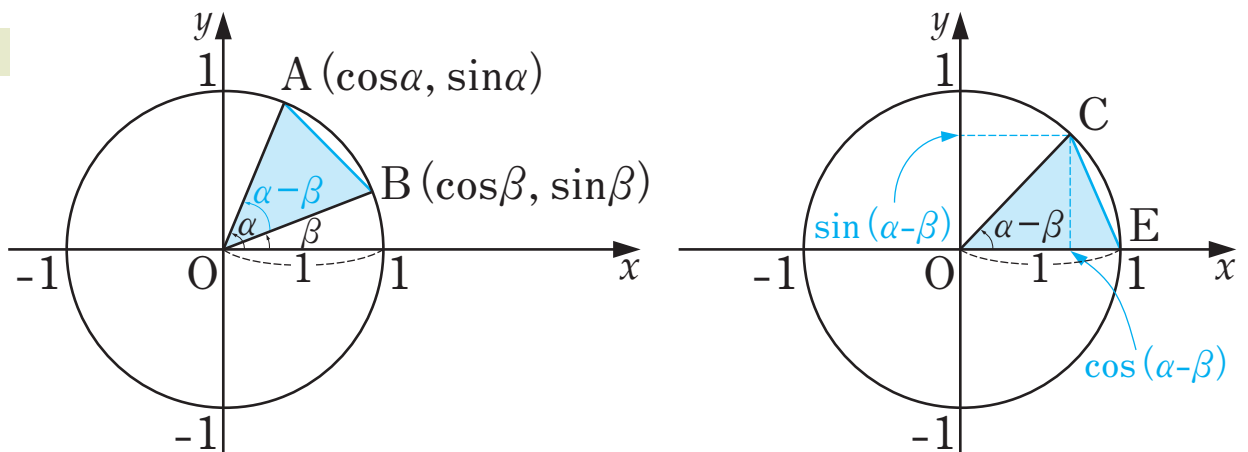
$$[1] \quad \sin(\alpha + \beta) = \sin\alpha \cos\beta + \cos\alpha \sin\beta$$

$$\sin(\alpha - \beta) = \sin\alpha \cos\beta - \cos\alpha \sin\beta$$

$$[2] \quad \cos(\alpha + \beta) = \cos\alpha \cos\beta - \sin\alpha \sin\beta$$

$$\cos(\alpha - \beta) = \cos\alpha \cos\beta + \sin\alpha \sin\beta$$

証明



上の図の単位円で、角 α 、角 β の動径をそれぞれ OA 、 OB とすれば、点 A の座標は $(\cos \alpha, \sin \alpha)$ 、点 B の座標は $(\cos \beta, \sin \beta)$ であるから、2点 A, B 間の距離の平方は

$$\begin{aligned} AB^2 &= (\cos \alpha - \cos \beta)^2 + (\sin \alpha - \sin \beta)^2 \\ &= \cos^2 \alpha - 2\cos \alpha \cos \beta + \cos^2 \beta + \sin^2 \alpha - 2\sin \alpha \sin \beta + \sin^2 \beta \\ &= 2 - 2(\cos \alpha \cos \beta + \sin \alpha \sin \beta) \quad \dots\dots\dots ① \end{aligned}$$

一方、 $\triangle OAB$ を原点のまわりに $-\beta$ だけ回転して、点 B が点 $E(1, 0)$ に重なるようにしたときの点 A の位置を C とすると

$$C(\cos(\alpha - \beta), \sin(\alpha - \beta))$$

であるから、 $\dots\dots\dots$